一般社団法人中部地域づくり協会　地域づくり技術研究所

令和5年度 活動報告（令和5年5月～令和5年12月）

No.	実施年月日	場所・行事、内容	
1	令和5年5月21日	令和５年度木曽三川連合総合水防演習	参加
2	令和5年5月25日	愛知県立一宮工科高校	防災講座
3	令和5年5月26日	愛知県立豊橋聾高校	防災講座
4	令和5年6月8日	関市立関商工高校	防災講座
5	令和5年6月9日	大垣市立東中学校	防災講座
6	令和5年6月13日	中津川市立加子母中学校	防災講座
7	令和5年6月14日	弥富市立十四山東部小学校	防災講座
8	令和5年6月15日	揖斐川町立小島小学校	防災講座
9	令和5年6月19日	山県市立梅原小学校	防災講座
10	令和5年6月20日	美浜町立野間小学校	防災講座
11	令和5年6月23日	岐阜市立岩野田小学校	防災講座
12	令和5年6月26日	中部学院大学	防災講座
13	令和5年6月27日	弥富市立桜小学校	防災講座
14	令和5年6月29日	岐阜市立合渡小学校	防災講座
15	令和5年6月30日	愛知県立豊田高等特別支援学校	防災講座
16	令和5年7月4日	中部大学	防災講座
17	令和5年7月5日	瑞穂市立南小学校	防災講座
18	令和5年7月6日	愛知県立一宮工科高校	防災講座
19	令和5年7月7日	愛知県立津島北高校	防災講座
20	令和5年7月12日	各務原市立川島小学校	防災講座
21	令和5年7月13日	生活介護事業所	防災講座
22	令和5年7月16日	豊田市国際交流協会	防災講座
23	令和5年7月19日	岐阜市立三里小学校	防災講座
24	令和5年7月22日	もりみず旬間in蓮2023	協力
25	令和5年7月24日	国土交通Dayイベント	共同開催
26	令和5年7月25日	中部インフラDXセンター	VR体験会
27	令和5年7月30日	名古屋市緑生涯学習センター	防災講座
28	令和5年8月3日	岐阜市立徹明小学校・女性防火クラブ	防災講座
29	令和5年8月7日	浜松河川国道事務所	VR体験会
30	令和5年7月18日～8月10日	中部インフラDXセンター	展示

一般社団法人中部地域づくり協会　地域づくり技術研究所

令和5年度 活動報告（令和5年5月～令和5年12月）

No.	実施年月日	場所・行事、内容	
31	令和5年8月19日	楽しく学ぼう!ぼうさいマスターinおおはる2023	協力
32	令和5年8月26日	親子で学ぼう防災教育フェア	防災講座
33	令和5年9月1日	中津川市立蛭川小学校	防災講座
34	令和5年9月3日	木曽岬町防災フェア2013	参加
35	令和5年9月5日	岐阜県立飛騨特別支援学校	防災講座
36	令和5年9月6日	羽島市立桑原学園	防災講座
37	令和5年9月7日	山県市立伊自良中学校	防災講座
38	令和5年9月9日	岐阜県立郡上特別支援学校	防災講座
39	令和5年9月11日	岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校	防災講座
40	令和5年9月12日	飛島村立飛島学園	防災講座
41	令和5年9月13日	岐阜県立岐阜総合学園高校	防災講座
42	令和5年9月14日	愛知県立ひいらぎ特別支援学校	防災講座
43	令和5年9月14日	岐阜県立岐阜本巣特別支援学校	防災講座
44	令和5年9月15日	愛知県立豊橋工科高校	防災講座
45	令和5年9月21日	恵那県立恵那特別支援学校	防災講座
46	令和5年9月21日	岐阜市立長良西小学校	防災講座
47	令和5年9月22日	瑞穂市立巣南中学校	防災講座
48	令和5年9月25日	恵那市立串原中学校	防災講座
49	令和5年9月28日	岐阜県立岐阜本巣特別支援学校	防災講座
50	令和5年9月28日	岐阜県立岐阜盲学校に防災啓発冊子のデジタル録音図書を寄贈	
51	令和5年10月1日	松平交流館祭	参加
52	令和5年10月2日	愛知県立名古屋盲学校・愛知県立岡崎盲学校に防災啓発冊子のデジタル録音図書を寄贈	
53	令和5年10月11日	知立市立八ツ田小学校	防災講座
54	令和5年10月14日	豊川市立金屋小学校	防災講座
55	令和5年10月16日	岐阜市立岩野田小学校	災害図上訓練
56	令和5年10月18日	岐阜市立網代小学校	防災講座
57	令和5年10月19日	養老町立日吉小学校	防災講座
58	令和5年10月21日	第27回健康・福祉すこやかフェスティバル	参加
59	令和5年10月21日・22日	第47回春日井まつり	共同出展
60	令和5年10月25日	恵那市立山岡中学校	防災講座

一般社団法人中部地域づくり協会　地域づくり技術研究所

令和5年度 活動報告（令和5年5月～令和5年12月）

No.	実施年月日	場所・行事、内容	
61	令和5年10月26日	輪之内町立大藪小学校	防災講座
62	令和5年10月28日	津島市地区防災訓練	参加
63	令和5年10月29日	おおがき防災フェス2023	参加
64	令和5年10月29日	輪中ドームミニ防災展	参加
65	令和5年10月30日	愛知県立瀬戸工科高校定時制課程	防災講座
66	令和5年11月1日	恵那市立上矢作中学校	防災講座
67	令和5年11月2日	いのちを守る地域協働の防災訓練	参加
68	令和5年11月4日	瑞穂区民まつり2023	参加
69	令和5年11月5日	令和５年度藍川地域防災訓練	防災講座
70	令和5年11月7日	令和５年度愛知県公立高等学校ＰＴＡ連合会東三地区連合会研究集会	講演
71	令和5年11月8日	各務原市立川島小学校	防災講座
72	令和5年11月11日	令和５年度大規模津波防災総合訓練	参加
73	令和5年11月13日	垂井町立東小学校	防災講座
74	令和5年11月15日	岐阜市島水防団　ＶＲ浸水疑似体験	VR体験会
75	令和5年11月17日	一宮工科高校　VR浸水疑似体験・液状化実験	VR・実験
76	令和5年11月20日	神戸町立下宮小学校	防災講座
77	令和5年11月23日	東京都大島町防災の日特別イベント	講演
78	令和5年11月23日	トンネルで遊ぼう遊べる建設企業展	参加
79	令和5年11月24日	羽島市立桑原学園	防災講座
80	令和5年11月27日	高浜市立港小学校	防災講座
81	令和5年11月29日	岐阜市障害者生活支援センター	防災講座
82	令和5年12月1日	本巣市立一色小学校	防災講座
83	令和5年12月5日・6日	令和５年度介護施設等防災リーダー養成研修	VR・実験
84	令和5年12月6日・7日	建設技術フェア2023in中部	出展
85	令和5年12月9日	かなやま祭	VR・実験
86	令和5年12月11日	岐阜女子大学	防災講座
87	令和5年12月14日	岐阜市立藍川北中学校	防災講座
88	令和5年12月19日	弥富市立十四山中学校	防災講座

令和５年度 木曽三川連合総合水防演習に参加しました

令和５年５月２１日（日）に東海広場西エリア（愛知県愛西市立田町地先・木曽川右岸河川敷）で令和５年度 木曽三川連合総合水防演習が開催され、中部地域づくり協会は、展示ブースでの出展や防災エキスパートによる災害報告を行いました。

当研究所は、伊勢湾台風などのパネル展示やＶＲによる浸水疑似体験を行い、大村愛知県知事をはじめ、多くの方にＶＲを体験して頂き、「臨場感があった」「実際に起きたら怖い」などの声を頂きました。

また、完成したばかりの防災啓発冊子『「自然に学び、自然に備える」近年の豪雨災害記録集・２０２２』や大雨にソナエルマグネットは、沢山の方にお持ち帰り頂きました。

展示ブース

防災エキスパート

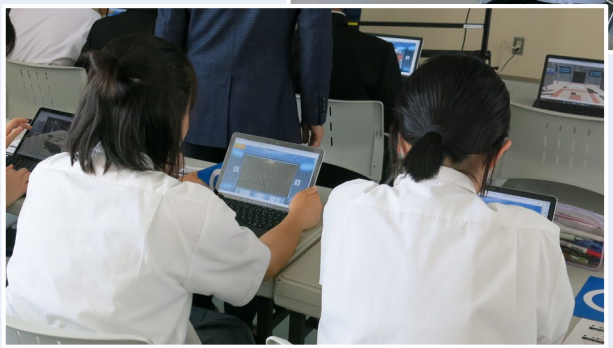
愛知県立豊橋聾学校で防災講座を行いました

令和５年５月２６日（金）、愛知県立豊橋聾学校で中学部１１名・高等部９名に防災講座を行いました。講座は、先生による手話や音声を文字に起こす機能を使ってモニターに表示して伝えて頂きました。

はじめに、三河地方に甚大な被害をもたらした昭和２８年９月の台風１３号や伊勢湾台風など過去に発生した風水害について、デジタル展示館や近年の豪雨災害記録集を活用しながら学び、その後、ＶＲで浸水を疑似体験しました。体験中には、怖がるような反応をしたり、体験後には、どの避難行動を選択しどのような結末になったのかなどを話し合っている様子が見られました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

この講座の様子は、東愛知新聞・東海日日新聞に掲載して頂きました。



愛知県立一宮工科高校で防災講座を行いました

令和５年５月２５日（木）、愛知県立一宮工科高校で２年生７人に、水害と地震を学ぶ体験型の防災講座を行いました。講座は今年で４年目となり、学校が防災に力点を置いた教育を進めていく一環として、都市工学科の授業カリキュラムに組み込み実施しているものです。 ７月までに４回の実施を予定しており今回が初回となります。

水害の講座では、過去に発生した風水害や流域治水について学び、ＶＲによる浸水疑似体験、堤防が壊れるメカニズムの実験を行いました。また地震の講座では、過去に発生した地震や液状化の仕組みなどを学び、実験装置やペットボトルを用いて液状化実験を行いました。生徒たちはＶＲ体験や実験を通して、楽しみながら学んでいた様子でした。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

水害

地震

関市立関商工高校で防災講座を行いました

令和５年６月８日（木）、今年で８０周年を迎える関市立関商工高校の２年生３６名、３年生１７名に体験型の防災講座を行いました。この防災講座は、令和２年より実施しており、今年で４年目となります。

今年は関市が大きな被害を受けた平成３０年７月豪雨から５年の節目です。２年生には水害の講座を行い、過去に発生した災害の説明をした後、ＶＲによる浸水疑似体験やマイタイムラインの作成で、水害の怖さや事前の備えの大切さを学んで頂きました。

３年生には地震の講座を行い、過去に発生した地震やその特徴を学習し、その後、実験を通して、液状化の仕組みや長周期地震動などについて学んで頂きました。

この講座の様子は、中日新聞に掲載されました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

地　震

水　害

大垣市立東中学校で防災講座を行いました

令和５年６月９日（金）、大垣市立東中学校で２年生約２２０名に防災講座を行いました。この講座は、昨年度に引き続き２回目の実施です。

はじめに大垣市でも被害が発生した９．１２豪雨災害など過去の災害について学んだ後、代表者４１人がＶＲによる浸水疑似体験、代表者以外は浸水疑似体験映像の視聴を行いました。ＶＲを体験した生徒からは、「怖かった」「警報が出たらすぐに避難したい」といった感想がありました。

また、講座と同時に、生徒が目隠しをしたり長靴を履いてプールの中を歩く浸水時歩行の体験も行われ、ＶＲによる浸水疑似体験との組合せで、より効果的な防災学習となっていました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

ＶＲ体験の様子

講座の様子

浸水時歩行の体験

中津川市立加子母中学校で防災講座を行いました

令和５年６月１３日（火）、中津川市立加子母中学校の全校生徒４８名に防災講座を行いました。

講座では、加子母地区で大きな被害のあった昭和４６年９月６日災害や、近年頻発する線状降水帯などについて学び、その後、３年生はＶＲによる浸水疑似体験、１～２年生は浸水疑似体験映像の視聴を行いました。

また、実験で堤防決壊のメカニズムを確認したり、身近なペットボトルを用いて、高潮や竜巻を起こす実験も体験しました。生徒たちは、友人同士楽しみながら興味を持って学んでいた様子でした。

講座を通して、「普段から非常食を用意したり、ハザードマップの確認をしたい」「自分の住んでいる地域の災害などを知っておくことが大切だとわかった」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

講座後には、加子母防災士会の方と意見交換を行いました。

弥富市立十四山東部小学校で防災講座を行いました

令和５年６月１４日（水）、弥富市立十四山東部小学校で１年生１８名、２年生１６名、３年生１９名に防災講座を行いました。小学校低学年を対象とした講座は、今回が初めてです。

はじめに旧十四山村でも被害が発生した伊勢湾台風など過去の災害について学んだ後、浸水疑似体験映像・あつ森による避難学習動画の視聴を行いました。講座中の「水害が怖いと思った人は手を挙げてください」の問いかけには多くの児童が手を挙げていました。

また、水害に関する〇×クイズや堤防決壊のメカニズムを学ぶ実験、ペットボトルを用いた高潮の実験では、皆さん元気よく積極的に受講していました。

今回の防災講座が、児童の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

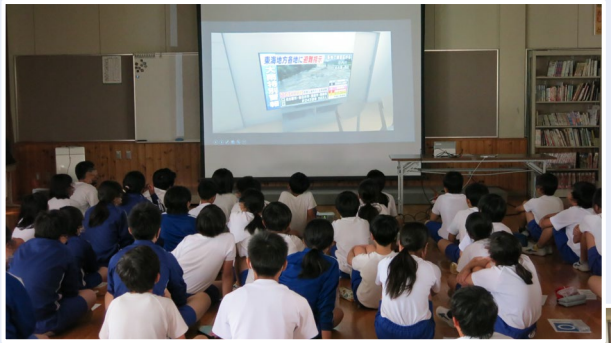
揖斐川町立小島小学校で防災講座を行いました

令和５年６月１５日（木）、揖斐川町立小島小学校で５年生２４名、６年生２４名に防災講座を行いました。

講座では、伊勢湾台風や西濃地域で大きな被害が発生した平成１４年の台風６号、西濃豪雨など過去の災害について学んだ後、浸水疑似体験映像の視聴を行いました。また、水害に関する〇×クイズで、事前の備えの大切さについて学んで頂きました。理科の授業での実施ということで、ペットボトルを用いた竜巻や雲を発生させる実験なども行いましたが、全員が興味津々にそれぞれの実験を楽しんでいました。

講座後の児童の挨拶では、「災害は経験したことがないけれど怖いと思ったので、早めに避難して命を守りたい」との感想を頂きました。

講座の様子は、中日新聞・岐阜新聞・大垣ケーブルテレビに取材頂きました。



山県市立梅原小学校で防災講座を行いました

令和５年６月１９日（月）、山県市立梅原小学校で４年生９名、５年生１１名、６年生７名に防災講座を行いました。講座は先生方も聴講されました。

はじめに山県市でも大きな被害のあった昭和５１年の９.１２豪雨災害など過去の災害について学んだ後、浸水疑似体験映像の視聴を行いました。映像視聴後の「自宅が浸水した状況で、あなたならどのような避難行動をとりますか」という質問には、多くの児童が「近所の高層マンションへ避難する」という垂直避難に挙手をし、浸水した状況では高いところに避難するという意識の高さが伺えました。

また、防災に興味を持って貰うことを目的に行った、ペットボトルを用いた高潮や気圧に関する実験では、友人同士話し合いながら、時間の許す限り楽しんでいました。

講座の様子は、山県市役所・中日新聞に取材頂きました。

美浜町立野間小学校で防災講座を行いました

令和５年６月２０日（火）、美浜町立野間小学校で５年生２０名、６年生２０名に防災講座を行いました。海沿いの学校での講座は初めてです。

はじめに美浜町で被害のあった伊勢湾台風や昭和５１年の９.１２豪雨災害など過去の災害について学んだ後、「浸水疑似体験映像」や「水害の動画」などの視聴を行いました。皆さんとても反応がよく、土石流や川の水位が一気に上昇する動画の視聴の際には、「怖い」などの声があり、画面上で白黒写真をカラーに変換した際には、「おーっ」と驚いたような反応を見せていました。

また、ペットボトルを用いて高潮を発生させる実験や雲や竜巻をつくる実験では、興味を持ちながら楽しんで行っていました。

講座の最後には、「早めに逃げないと被害にあってしまうことがわかりました。」との感想があり、水害の恐さと早期避難の大切さが伝わった様でした。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

５ 年 生

６ 年 生

岐阜市立岩野田小学校で防災講座を行いました

令和５年６月２３日（金）、岐阜市立岩野田小学校で５年生５６名に水害と地震の防災講座を行いました。岩野田小学校での防災講座は、今年で４年目です。

講座では、岩野田地域でも大きな被害があった昭和５１年の９.１２豪雨災害や明治２４年の濃尾地震など過去の災害について学んだ後、浸水疑似体験映像の視聴や液状化の仕組みを確認する実験などを行いました。防災に関する〇×クイズでは、正解した際には喜んでいたり、思っていた答えと違った際には驚いた反応を見せるなど、皆さん元気良く積極的に参加していました。

また、防災に興味を持って頂くきっかけになればと、身近なペットボトルで竜巻や雲を発生させる実験も行いました。多くの児童から「楽しかった」との声があり、楽しみながら学んで頂けた様子で嬉しく思います。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

この講座は、ＮＨＫ、中日新聞、ＣＣＮケーブルテレビに取材頂きました。

水　害

地　震

中部学院大学で防災講座を行いました

令和５年６月２６日（月）、中部学院大学で中部学院岐阜ＤＷＡＴ後方支援員の養成研修を修了した学生３１名に防災講座を行いました。大学での防災講座は初めてです。

ＤＷＡＴとは、医師や看護師らが被災現場などで活動する災害派遣医療チーム・ＤＭＡＴの福祉版です。

講座では、今年が５年の節目である関市が大きな被害を受けた平成３０年７月豪雨、伊勢湾台風、昭和５８年の９．２８豪雨災害など過去に発生した水害を学びながら、ＶＲによる浸水の疑似体験や、高潮や堤防決壊のメカニズムを学ぶ実験を行いました。また、自分たちの住んでいる地域の特徴や流域治水などについても理解を深めて頂きました。皆さん真剣に受講している様子が伺えました。

生徒からは、「ひとつの行動やひとつの判断で、自分の命や家族の命を守ることができると感じた」「実際に水害にあったことがなく、深く考えたこともなかったので、ＶＲ体験は貴重な時間だった」などの感想を頂きました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、避難インフルエンサーになって頂けることを期待しています。

弥富市立桜小学校で防災講座を行いました

令和５年６月２７日（火）、弥富市立桜小学校で５年生５５名に防災講座を行いました。

講座では、弥富市で大きな被害があった昭和３４年伊勢湾台風や昭和５１年９．１２豪雨災害など、過去に発生した災害を学んだ後、浸水疑似体験映像の視聴や高潮の実験・堤防決壊実験・身近なペットボトルで竜巻や雲を発生させる実験などを行いました。

弥富市内における伊勢湾台風の白黒の被害写真をカラーに加工した写真を見て、「わぁ～」という歓声とともに「すごい」「やばい」などという声も上がり、どの児童も積極的に挙手・発言され、防災に関する学びを深めてもらいました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

岐阜市立合渡小学校で防災講座を行いました

令和５年６月２９日（木）、岐阜市立合渡小学校６年生６０名に水害と地震の防災講座を行いました。

当日は「防災ＤＡＹ」として、防災講座のほか、ＤＩＧ訓練や救命救急講座なども行われていました。

水害の講座では、浸水疑似体験映像を視聴し避難行動を学びました。また、過去の水害についても学び、この地域が甚大な被害を受けた昭和５１年の９.１２豪雨について尋ねると、全員が知っていると手を上げ、水害に対する意識の高さに驚きました。児童の皆さんは、メモを取りながら真剣に話に耳を傾けていました。

地震の講座では、液状化や長周期地震動などについて、実験を取り入れながら学びました。また、ペットボトルを使った防災実験では、各々の仕組みを考えながら楽しそうに行っていました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

水　害

地　震

愛知県立豊田高等特別支援学校で防災講座を行いました

令和５年６月３０日（金）、愛知県立豊田高等特別支援学校で高等部２年生５１名に防災講座を行いました。

講座では、豊田市も大きな被害を受けた昭和４７年７月豪雨災害や伊勢湾台風、平成１２年の東海豪雨など過去に発生した水害について、デジタル展示館や近年の豪雨災害記録集を活用しながら学んだり、ＶＲによる浸水の疑似体験を行いました。ＶＲ体験中には、３６０度見回していたり、映像中に出てくる物に触ろうとするなどの様子が見られ、また、驚いたような声も上がっていました。

最後に代表で挨拶した生徒からは、「今日学んだことをこれからの生活に活かし、災害に対する意識を持ちながら、生活していきたいです」との感想を頂きました。

今回の講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

中部大学で防災講座を行いました

令和５年７月４日（火）、中部大学で都市建設工学科の学生２０名に防災講座を行いました。大学で土木系の学生に向けての防災講座は初めてです。

講座では、伊勢湾台風や昭和５８年の９.２８豪雨など中部地域で発生した水害や、近年全国で発生した水害などを学び、ＶＲで浸水を疑似体験しました。また、流域治水や川の防災情報・キキクルからの情報収集など、命を守るための取り組みや行動について理解を深めて頂きました。

学生からは、「今まで水害を受けたことがなかったので想像し難かったが、ＶＲで実際の被害を仮体験できたので防災意識が変わった」「土木を学んでいる人間として、いかに地域に貢献していくか考えていきたい」などの感想を頂きました。

今回の講座が、学生たちの防災意識向上に繋がり、避難インフルエンサーになって頂けることを期待しています。

瑞穂市立南小学校で防災講座を行いました

令和５年７月５日（水）、瑞穂市立南小学校で５年生８７名に防災講座を行いました。学校内には、防災に関わる本のコーナーがあり、防災意識の高さが感じられました。

講座では、この地域で浸水被害のあった昭和５１年の９.１２豪雨や、伊勢湾台風など、過去に発生した水害を学び、浸水疑似体験映像・あつ森による避難学習動画の視聴、ペットボトルを用いた竜巻や雲を発生させる実験などを行いました。あつ森は皆さんよく知っているようで、動画を真剣に視聴していました。

また、浸水時の白黒写真をカラー化した写真や、土石流・川の水位が一気に上昇する動画の視聴では、多くの児童が「えーっ」と驚いていたり、「やばい」「こわい」との声があがっていました。

児童からは、「今日学んで、１分１秒でも早く逃げる事が大切だと知った」「台風、集中豪雨は予測できるので、早く避難して、もしものときにそなえて日頃から準備したい」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

この講座は、ＣＣＮケーブルテレビに取材頂きました。

愛知県立一宮工科高校で防災講座を行いました

令和５年７月６日（木）、愛知県立一宮工科高校で２年生５名に、水害と地震についての防災講座を行いました。５月から４回にわけて合計２６人に実施した最後の１回です。

水害の講座ではVRによる浸水疑似体験や堤防決壊実験、地震の講座では液状化実験や長周期地震動の実験を行い、この地域で起きた災害やそのメカニズム、また、災害への備えなどについても学びました。これから土木技術者として社会に出る生徒たちが、「守られる人」から「守る人」になって、地域の守り手になって頂けることを期待しています。

愛知県立津島北高校で防災講座を行いました

令和５年７月７日（金）、愛知県立津島北高等学校で３年生１４名に地震の防災講座を行いました。昨年度は２年生に水害の講座を実施しており、昨年度に引き続いて今回受講した生徒もいました。

講座では、濃尾地震など過去に発生した地震やその特徴について学び、学校や自宅の揺れやすさ・液状化の危険度をハザードマップで確認しました。

また、実験を通して、液状化や地震が発生する仕組み、長周期地震動などについて理解を深めて頂きました。液状化実験中は、皆さん興味を持ちながら見ていた様子が伺え、「すごい」の声があがっていました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

各務原市立川島小学校で防災講座を行いました

令和５年７月１２日（水）、今年が創立１５０周年となる各務原市立川島小学校で６年生約１５０名に防災講座を行いました。学校は木曽川の中洲にあり、過去から水害に悩まされてきた地域です。「ごんぼ積み」と言われる石積みの基礎がある家屋も多く残っています。

講座では、各務原市でも浸水被害のあった伊勢湾台風や昭和５１年の９.１２豪雨など、過去に発生した水害を学び、浸水疑似体験映像やあつ森による避難学習動画の視聴で水害の恐ろしさや避難について、理解を深めて頂きました。

また、高潮を学ぶ実験や身近なペットボトルを用いた竜巻・雲を発生させる実験などでは、多くの児童が興味を持って時間の限り楽しみながら行っていました。

児童からは、「話を聞いて、各務原市も被害があったと分かって、家族で話し合って早く避難したいと思った」「川島では、洪水になったらすぐに水につかることが分かったので、水害の対策をしたい」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

講座の様子

実験の様子

「ごんぼ積み」

生活介護事業所で防災講座を行いました

令和５年７月１３日（木）、生活介護事業所「きららハウス」で施設利用者・職員１８名に防災講座を行いました。生活介護事業所での講座は今回が初めてです。

講座では、ＶＲでの浸水疑似体験や映像の視聴、堤防の決壊や高潮の実験、ソナエルピクトで水害への備えを学びました。実際に体験することや、映像、ピクトグラムによる啓発は、障がいのある方にも、伝わりやすいと感じました。

今後も、大雨からの逃げ遅れゼロを目指し、誰ひとり取り残さない防災啓発に取り組んで参ります。

豊田市国際交流協会の日本語教室で防災講座を実施しました

令和５年７月１６日（日）、豊田市国際交流協会の日本語教室受講者とボランティア・職員２０名を対象に防災講座を行いました。今回講座を受講した外国人の方は８名でした。

豊田市は、旧小原村などで甚大な被害が発生した昭和４７年７月豪雨や平成１２年の東海豪雨など度重なる災害に見舞われています。

はじめに、浸水疑似体験映像の英語テロップ挿入版を視聴した後、実際にＶＲで浸水を疑似体験して頂きました。体験後には、「怖かった」「車が飛んできてびっくりした」などの感想があり、浸水の恐ろしさが伝わった様でした。

また、大雨の備えについては、ピクトグラムを活用した「大雨にソナエルピクト」で理解を深めて頂き、最後にソナエルマグネットも配付しました。

今後も「大雨から誰ひとり取り残さない」地域社会を目指した取り組みを進めて参ります。

講座の様子

ＶＲ体験の様子

ロビーに、浸水疑似体験映像の英語版・ポルトガル語版のチラシを設置させて頂きました。

岐阜市立三里小学校で防災講座を行いました

令和５年７月１９日（水）、岐阜市立三里小学校で５年生約１５０名に防災講座を行いました。

学校は長良川の近くにあり、この地域は、昭和５１年の９.１２豪雨で浸水被害を受けています。

浸水疑似体験映像の視聴では、多くの児童が水害の怖さを感じたと答え、早期避難の動機付けになっていました。

また、ペットボトルを使った防災科学実験は、皆さん楽しく体験していましたので、これが防災に興味を持つきっかけに繋がればと思っています。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

「もりみず旬間 in 蓮 2023 ～１日ダム探検～」に協力しました

令和５年７月２２日（土）、国土交通省 蓮ダム管理所において、「もりみず旬間 in 蓮 2023 ～１日ダム探検～」が開催されました。毎年７月２１日～３１日までを「森と湖に親しむ旬間」として、各地でイベントなどが開催され、蓮ダムではダムの仕組みや役割を紹介する「１日ダム探検」が行われました。

このイベントは親子での参加が多いことから、大人は浸水ＶＲ体験、子どもはあつ森で避難を学ぶ動画などの上映やペットボトルを使った防災科学実験で、楽しみながら体験していただきました。今後も多様な機関と連携しながら、「大雨から大切な命を守る！誰ひとり取り残さない逃げ遅れゼロを目指した取り組み」を進めてまいります。

国土交通Ｄａｙイベントを中部地方整備局と共同で行いました

令和５年７月２４日（月）、名古屋市のイオンモール ナゴヤドーム前店において、中部地方整備局と共同で国土交通Ｄａｙイベントを開催しました。

当協会は、ＶＲによる浸水疑似体験や「あつ森」の避難学習動画の上映、ペットボトルを用いた防災科学実験などを行いました。ＶＲ体験者からは「とても怖く勉強になりました」などの感想があり、また、実験はお子さんたちが楽しんで行っていた様子が伺え、親御さんからも「実際に楽しみながら学べることはとても良いですね」「夏休みの自由研究に」との声を頂きました。

中部地方整備局による緊急記者会見ブースでは、制服を着用しての写真撮影コーナーがあり、皆さん笑顔でポーズをとってカメラに収まってました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

中部インフラＤＸセンターの見学者にＶＲで浸水を疑似体験して頂きました

令和５年７月２５日（火）、中部インフラＤＸセンター（中部技術事務所内）で、地震に強いものづくり地域の会「あいぼう会」の方々にＶＲで浸水を疑似体験して頂きました。

現在、ＤＸセンター内では、ＶＲ体験と併せて、ＤＸに関する取り組みをパネル・動画で紹介するブース展示も行っています。

ＶＲ体験者からは、「災害の動画を見ることはあっても疑似体験することはあまりないので、良い体験になった」「迫力もあって勉強になった」などの感想を頂きました。

また、多くの方に「大雨にソナエルマグネット」をお持ち帰り頂き、事前の備えの重要性についてお伝えしました。

今後もＤＸを活用した「大雨から大切な命を守る」防災啓発に取り組んでまいります。

名古屋市緑生涯学習センターで防災講座を行いました

令和５年７月３０日（日）、名古屋市緑生涯学習センターで、令和５年度前期講座「【緑区社会福祉協議会共催】いざという時に考えて、行動できるために ～防災のリアルを体験して～」の受講者５名に水害と地震の防災講座を行いました。

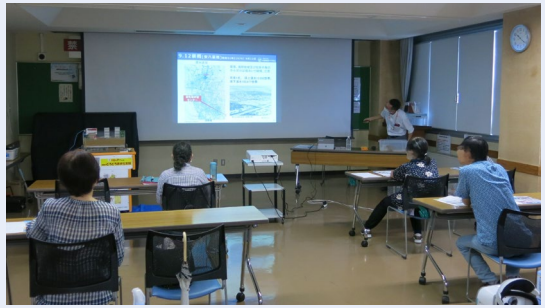
水害の講座では、名古屋市でも被害のあった伊勢湾台風や東海豪雨など、過去に発生した災害について学び、また、ＶＲによる浸水疑似体験で避難行動や浸水の恐ろしさについて理解を深めて頂きました。

地震の講座では、濃尾地震など過去に発生した地震や、実験装置・ペットボトルを用いた実験を交えながら液状化について学んだあと、実際に、緑区が地震に強いのかをハザードマップを見ながら確認して頂きました。

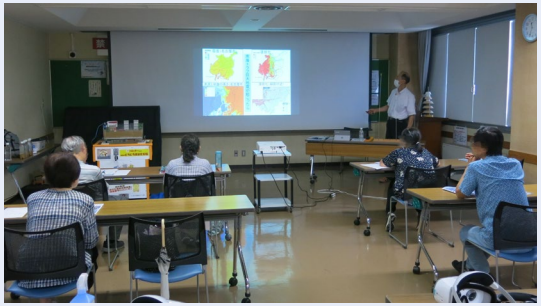
受講者の方は、頷きながら聴講されていました。また、ＶＲ体験では「すごくリアルで怖かった、貴重な体験ができました」などの感想がありました。

今後も、地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

水害



地震



岐阜市立徹明さくら小学校の児童や女性防火クラブ会員に防災講座を行いました

令和５年８月３日（木）、岐阜市木之本公民館で岐阜市立徹明さくら小学校の児童４５名と木之本地域女性防火クラブ会員１７名の合計６２名に防災講座を行いました。

講座では、浸水疑似体験映像・あつ森による避難学習動画を視聴し、水害の恐ろしさや避難について学んで頂きました。「ハザードマップで自宅の浸水深を確認したことがありますか」との質問には多くの児童や会員の方が手を挙げ、水害への意識の高さが伺えました。

また、水害に関する〇×クイズや、防災に関心を持つきっかけづくりとしてペットボトルによる防災科学実験も行いました。児童の皆さんは、元気に楽しそうに学んでいました。

講座の前には女性防火クラブによる１１９番通報の訓練なども行われていました。

今後も、地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

浜松河川国道事務所「国土交通省 防災のお仕事」でＶＲ体験会を行いました

令和５年８月７日（月）、浜松河川国道事務所で、「国土交通省 防災のお仕事」が開催され、その中で浜松支所・当研究所はＶＲによる浸水体験会を行いました。

ＶＲ体験者からは、「３６０度見られて迫力があり怖かった」「早めに避難しないといけないと思った」などの感想を頂き、また、「大雨にソナエルピクト」のマグネット配布も行い、事前の備えなどについてお話ししました。

その他にも、防災に関するカードゲームや起震車による地震体験、ドローン操作体験などが行われており、家族で楽しみながら学べる内容となっていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

中部インフラDXセンターでブース展示を行いました

令和５年７月１８日（火）から８月１０日（木）までの１５日間、中部インフラＤＸセンター（中部地方整備局 中部技術事務所内）において、ブース展示を行いました。

期間中１７３名の方が来場され、ＶＲによる浸水体験や、ＤＸに関する取り組みをパネル・動画で見学いただきました。

今後もＤＸを活用し、Ｚ世代に伝わる「大雨から大切な命を守る」防災啓発に取り組んでまいります。

「楽しく学ぼう！ぼうさいマスターin おおはる2023」に協力しました

令和５年８月１９日（土）、大治町スポーツセンターにおいて、大治町主催の「楽しく学ぼう！ぼうさいマスターinおおはる２０２３」が開催されました。このイベントでブース展示を行い、大人は浸水ＶＲ体験、子どもはペットボトルを使った防災科学実験で、楽しみながら学んで頂きました。また、このイベントでは、災害時に待ち受ける様々な瞬間を参加者自らが考えながら適切な行動を学習できる体験型防災演習ゲーム「生存確率」が行われ、スタンプラリー形式で各団体のブースを巡回する仕組みになっていたこともあり、ブースには子ども連れで大変多くの方が来場されました。当日、ＣＢＣテレビの取材もありました。

今後も多様な機関と連携しながら、「大雨から大切な命を守る！誰ひとり取り残さない逃げ遅れゼロを目指した取り組み」を進めてまいります。

「親子で学ぼう防災教育フェア」で防災講座を行いました

令和５年８月２６日（土）、各務原市にある岐阜県広域防災センターで、「親子で学ぼう防災教育フェア（岐阜県主催）」が開催され、その中で当協会は防災講座を担当しました。参加者は、小学生と保護者７８名です。このフェアは、昨年度に引き続いての実施ですが、とても人気があり、募集開始から１１分で定員に達したそうです。

防災講座では、保護者の皆さんにはＶＲによる浸水疑似体験を、お子さんたちには浸水疑似体験映像やあつ森による避難啓発動画の視聴で、水害への備えについて学んで頂きました。また、ペットボトルを用いて雲や竜巻を発生させる実験なども行い、お子さんたちは楽しみながら学べた様子でした。

ほかにも、防災ヘリの見学や地震・ポンプ車放水・濃煙迷路体験等も行われており、親子で楽しめる内容となっていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

中津川市立蛭川小学校で防災講座を行いました

令和５年９月１日（金）、中津川市立蛭川小学校で５年生２６名・６年生２８名に防災講座を行いました。全校生徒を対象に今年度から始められた「防災スクール」で、当研究所は高学年を担当しました。

講座では、伊勢湾台風や９.２８豪雨災害、東海豪雨など、過去に発生した水害を学び、浸水疑似体験映像やあつ森の避難学習動画の視聴を行いました。また、〇×クイズを交えながら、水害への事前の備えなどについて学んで頂きました。

堤防決壊のメカニズムを学ぶ実験や、ペットボトルを用いた竜巻や雲を発生させる実験では、各自それぞれ楽しみながら行っていました。

講座後の児童の挨拶では、「水害が起きた時の対処法が分かったので、今後に活かしたい」「水害が発生するとどのようなことが起こるか、避難の仕方がよく分かった」などの感想を頂きました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

「木曽岬町防災フェア２０２３」に参加しました

令和５年９月３日（日）、三重県木曽岬町役場で開催された「木曽岬町防災フェア２０２３」に参加しました。

当協会のブースでは、大雨にソナエルピクトのクイズラリーやあつ森の避難学習動画の上映を行い、クイズラリーの正解者には、防災グッズをプレゼントしました。クイズラリーでは、会場内に貼ったクイズを親子で考えたり、避難場所を家族で確認して記入したりしていました。参加者からは、「勉強になりました」などの感想も頂きました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

岐阜県立飛彈特別支援学校で防災講座を行いました

令和５年９月５日（火）、岐阜県立飛彈特別支援学校で高等部２５名に防災講座を行いました。

講座では、伊勢湾台風や９.１２豪雨災害など過去に発生した水害について、デジタル展示館や近年の豪雨災害記録集を活用して調べ学習を行いました。真剣に調べながら、学習シート一杯に記入している生徒さんもいました。また、ＶＲによる浸水疑似体験では、体験後に先生や友人たちとどのような結末になったのかなどを話し合っていました。

代表で挨拶をした生徒さんからは、「水害の怖さを知ることができた。災害が起きたときに今日学んだことを活かしたい」との感想を頂きました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

羽島市立桑原学園で防災講座を行いました

令和５年９月６日（水）、羽島市立桑原学園で７年生１６名に防災講座を行いました。去年に引き続き２回目の実施です。

学校は木曽川と長良川に挟まれており、水害リスクの高い地域です。また、グラウンドには、９.１２豪雨災害の浸水深を表す表示板が建てられています。

講座では、伊勢湾台風や学校も浸水被害にあった９.１２豪雨災害など過去に発生した水害について学習し、ＶＲや映像で浸水を疑似体験しました。学校の写真に想定される浸水深（想定最大規模）を重ねたスライドを見た際には、多くの生徒から驚いたような声があがっており、また、講座中には、メモをとりながら真剣に話を聞いている様子が伺えました。

最後に代表で挨拶した生徒さんからは、「テレビなどで避難情報が出たら、防災グッズを持って学校などに避難したい」との感想がありました。

今回の講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、この講座の様子は、中日新聞・岐阜新聞・ケーブルテレビＣＣＮに取材して頂きました。

山県市立伊自良中学校で防災講座を行いました

令和５年９月７日（木）、山県市立伊自良中学校で全校生徒７２名に防災講座を行いました。講座は先生方も聴講され、ＶＲで浸水疑似体験もして頂きました。

講座では、伊勢湾台風や山県市でも甚大な被害のあった昭和５１年の９.１２豪雨災害など、過去に発生した水害を学んだ後、浸水疑似体験映像の視聴を行い、〇×クイズを交えながら早期避難や備えの重要性について理解を深めて頂きました。

また、防災に興味を持つきっかけづくりとして、ペットボトルで竜巻や雲をつくる気象実験や、活断層や液状化などについて学ぶ実験も行いました。各自友人たちと考えながら楽しく取り組んでいました。

最後に代表で挨拶した生徒さんからは、「ＶＲの映像を見て少しでも早く判断できるといいと思った。水害は予想して準備できるので、しっかりと備えたい」との感想がありました。また、校長先生からは、「これからは地域を守る人になって下さい」との話もありました。

今回の講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

岐阜県立郡上特別支援学校で防災講座を行いました

令和５年９月９日（土）、岐阜県立郡上特別支援学校で高等部１０名とその保護者に「地域との防災学習」の一環で防災講座を行いました。

講座では、伊勢湾台風や郡上市で被害のあった平成１６年台風２３号など、過去に発生した水害について学び、ＶＲによる浸水疑似体験やペットボトルを用いて竜巻や雲を発生させる防災科学実験などを行いました。ＶＲ体験後には「怖かった」などの声があり、浸水の怖さが伝わったようでした。

また、併せて段ボールベッド作り体験など避難所体験も行われており、防災意識を高める１日となっていました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

講座の様子は、ケーブルテレビＩＮＧに取材頂きました。

岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校で防災講座を行いました

令和５年９月１１日（月）、岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校で高等部３名に防災講座を行いました。学校の近くには長良川と早田川が流れており、浸水リスクの高い地域です。

講座では、伊勢湾台風や９.１２豪雨など過去に発生した水害を学んだ後、ＶＲで浸水を疑似体験しました。また、堤防決壊のメカニズムを学ぶ実験や、ペットボトルを用いて竜巻や雲を発生させる実験などでは、皆さん興味津々にそれぞれの実験を楽しんでいました。講座後の生徒の挨拶では、「大雨の時には早く逃げたい。」「実験がより解りやすく、勉強になりました。」などの感想を頂きました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、中日新聞に取材頂きました。

飛島村立飛島学園で防災講座を行いました

令和５年９月１２日（火）、飛島村立飛島学園で９年生４１名に防災講座を行いました。飛島村では、伊勢湾台風で死者が１３８名となるなど甚大な被害を受けています。村内には、伊勢湾台風殉難之碑が建てられています。

講座では、伊勢湾台風や９.１２豪雨災害など過去に発生した水害について、動画の視聴やタブレットを活用しながら学習し、ＶＲで浸水を疑似体験しました。ＶＲでどの避難行動を選択をしたかの問いには、多くの生徒が上階や近くの高層マンションに逃げる垂直避難を選択していました。

最後に代表で挨拶した生徒からは、「ＶＲ体験をして、どんな行動をすれば良いか考えることで理解が深まった。昔の災害のようなことが、今でも線状降水帯などで起こるかもしれないので、今日学んだことを活かして避難したい」との感想がありました。

今回の講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

講座の様子は、中日新聞に取材頂きました。

伊勢湾台風殉難之碑

岐阜県立岐阜総合学園高校で防災講座を行いました

令和５年９月１３日（水）、岐阜県立岐阜総合学園高等学校で２年生８名に水害と地震の防災講座を行いました。令和３年から実施しており、今年で３回目です。学校は、荒田川沿いにあり、近くには長良川が流れています。

水害の講座では、この地域も浸水被害を受けた９.１２豪雨など過去に発生した災害について学び、体験型学習として、ＶＲによる浸水疑似体験、高潮・堤防決壊実験などを行いました。

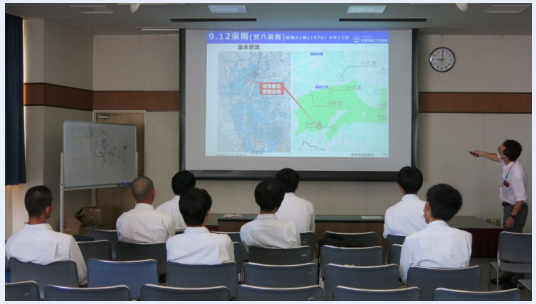
地震の講座では、中部地方に甚大な被害をもたらした濃尾地震などについて学び、地震が発生した際に岐阜市でどのような被害が考えられるかについて理解を深めて頂きました。その後、映像や実験装置・ペットボトルで液状化現象を学ぶ実験を行いました。

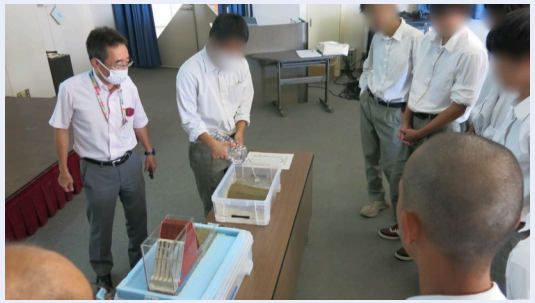
講座を通して、生徒からは、「ＶＲ体験をして、どんな逃げ方が良いのか、何をしたら駄目なのか分かった」「液状化の恐ろしさを知り、その地域の地盤を知っておく必要があると思った」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

講座の様子は、岐阜新聞に取材頂きました。

水害





地震

愛知県立ひいらぎ特別支援学校で防災講座を行いました

令和５年９月１４日（木）、愛知県立ひいらぎ特別支援学校で高等部２年生６名に「防災体験学習」の一環として防災講座を行いました。

講座では、半田市でも被害があった伊勢湾台風や東海豪雨について学び、ＶＲによる浸水疑似体験や高潮を発生させる実験、堤防決壊のメカニズムを学ぶ実験、ペットボトルを用いて竜巻や雲を発生させる実験など体験型で行いました。代表の生徒さんは「家が川の近くにあるので、ＶＲと実験で危ないことが知れて良かった。」と感想をお話して下さいました。本講座の他、避難所の実態についての講話や濃煙体験など１日防災について学習する日になっています。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。なお、この講座の様子は、ＮＨＫ・中日新聞に取材して頂きました。

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校で防災講座を行いました

令和５年９月１４日（木）、岐阜県立岐阜本巣特別支援学校で中学部１４名に防災講座を行いました。昨年度に続いて２回目の実施で、今後も高等部での実施を予定しています。学校は、土砂災害警戒区域にあります。

講座では、伊勢湾台風や９.１２豪雨など過去に発生した水害を防災啓発冊子「自然に学び、自然に備える」を活用しながら学び、ＶＲで浸水を疑似体験して頂きました。冊子を見て「七夕水害がとても怖いと思った」、ＶＲ体験後には「勉強になった」と伝えてくれた生徒がいました。

また、ペットボトルを用いた気象などに関する実験は、多くの生徒が興味を持ち楽しみながら行っていました。

最後に代表で挨拶した生徒からは、「知恵を活かしながら災害に目を向けて、準備などをして普段から防災の意識を持って生活したい」などの感想がありました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

愛知県立豊橋工科高校で防災講座を行いました

令和５年９月１５日（金）、愛知県立豊橋工科高等学校で３年生３４名に防災講座を行いました。豊橋工科高校での防災講座は今回が４回目となります。

６月上旬に発生した梅雨前線及び台風２号による大雨では、学校周辺でも浸水被害があったそうです。

講座では、ＶＲによる浸水疑似体験を通して、水害の恐ろしさや早期避難の重要性を学ぶと共に、自宅の浸水深をハザードマップで確認しながらマイタイムラインの作成を行い、大切な命を守るために自分自身が取る行動を考えて頂きました。

また、伊勢湾台風など過去に発生した水害や、実験を通して高潮や堤防決壊のメカニズムを学ぶとともに、流域治水についても理解を深めて頂きました。

最後に代表で挨拶した生徒からは、「住んでいる地域のリスクを考え、対策を練っていきたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

岐阜県立恵那特別支援学校で防災講座を行いました

令和５年９月２１日（木）、岐阜県立恵那特別支援学校で小学部約４０名・高等部約４０名に防災講座を行いました。当日は防災学習の日として、命を守る訓練なども行われていました。

小学部の講座では、恵南（東海）豪雨など過去に発生した水害を振り返り、あつ森の避難学習動画・浸水疑似体験映像の視聴を交えながら水害について学んで頂きました。また、堤防決壊実験やペットボトルを用いた竜巻や雲など気象に関する実験では、楽しみながら体験していました。

高等部の講座では、皆さんにＶＲで浸水を疑似体験して頂きました。多くの生徒が「怖かった」と話しており、浸水の恐ろしさが伝わった様子でした。また、「様子を見るのではなく、早期避難を心がけたい」「どこに避難したらいいかなど、ＶＲで確認することができてよかった」などの感想もありました。

今回の防災講座が児童・生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

小学部

高等部

岐阜市立長良西小学校で防災講座を行いました

9月21日(木)、岐阜市立長良西小学校で4年生3クラス約90名に防災講座を行いました。学校は長良川の近くにあり、この地域は昭和51年の9.12豪雨で浸水被害にあっています。4年生はこれから自分たちが住む地域について学習するという事です。

講座で伊勢湾台風の白黒の被害写真をカラーに変換したスライドを見た時には「おぉ～」と大きな歓声が上り、浸水疑似体験映像は全員が真剣な表情で視聴していていました。

また、ペットボトルを用いた防災実験なども体験しました。

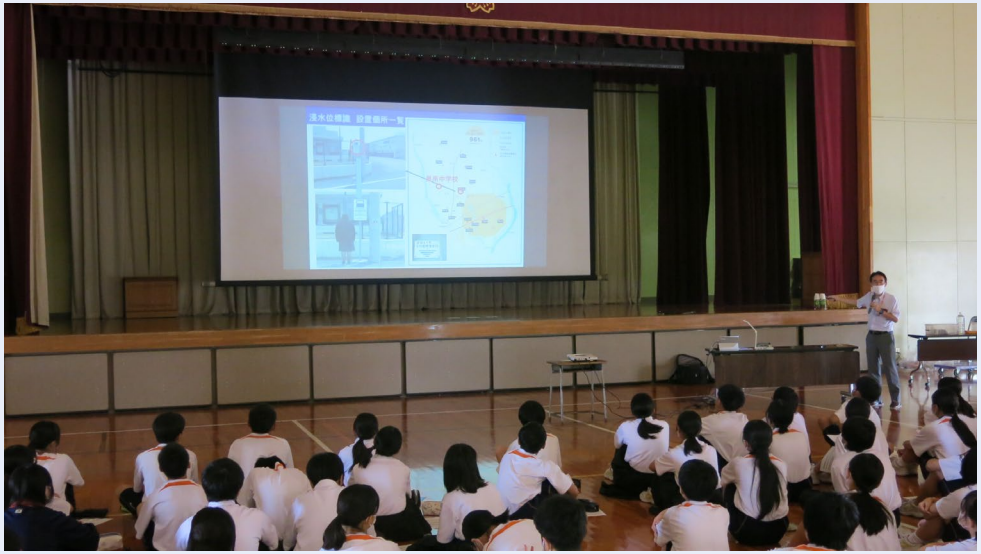
今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

瑞穂市立巣南中学校で防災講座を行いました

令和５年９月２２日（金）、瑞穂市立巣南中学校で１年生約１８０名に防災講座を行いました。

講座では、瑞穂市でも被害があった昭和５１年９.１２豪雨災害や伊勢湾台風について学び、ＶＲによる浸水疑似体験や高潮を発生させる実験、堤防決壊のメカニズムを学ぶ実験などを行いました。ＶＲを体験した代表の生徒さんは「ＶＲで水害を体験できたので、危ないことがわかった。」「水がすぐ上がってきたので、早く避難したいと思った。」などの声を聞かせてくれました。また、学校のすぐ脇を犀川が流れ、この地域では９.１２豪雨災害の際、深いところで約１７０cm浸水したことを看板は伝えています。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



恵那市立串原中学校で防災講座を行いました

令和５年９月２５日（月）、恵那市立串原中学校で全校生徒１７名に防災講座を行いました。串原地区は、特に土砂災害の危険度が高い地域です。

講座では、串原地区に大きな被害をもたらした平成元年９.２０豪雨や恵南（東海）豪雨などについて学び、ＶＲによる浸水疑似体験や、〇×クイズも交えながら浸水害や土砂災害への早期避難や備えの重要性について理解を深めました。また、自宅の浸水深や土砂災害警戒区域をハザードマップで確認しながらマイタイムラインの作成を行い、大切な命を守るために自分自身が取る行動を考えて頂きました。

防災に興味を持つきっかけづくりとして行ったペットボトルによる気象に関する実験では、多くの生徒が興味を持ち、楽しんで体験していました。最後に代表で挨拶した生徒さんからは「私達の生活に欠かせない防災の話が分かりやすく聞けて良かった。」との感想がありました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校で防災講座を行いました

令和５年９月２８日（木）、岐阜県立岐阜本巣特別支援学校で高等部２４名に防災講座を行いました。当日は、美濃加茂市や坂祝町などに甚大な被害をもたらした９.２８豪雨災害から４０年の節目の日でした。この学校は、土砂災害警戒区域にあります。

講座では、伊勢湾台風や９.１２豪雨など過去に発生した水害を防災啓発冊子「自然に学び、自然に備える」を活用しながら学び、ＶＲで浸水を疑似体験して頂きました。ＶＲ体験後の「怖かったですか？」の問いには皆さん手を挙げ、「すごく浸水してびっくりした」などの感想も聞かれました。

また、ペットボトルを用いて竜巻や雲をつくる気象に関する実験は、興味を持ちながら何度も繰り返し行っていました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

一般社団法人中部地域づくり協会　地域づくり技術研究所

岐阜県立岐阜盲学校に防災啓発冊子の デジタル録音図書（音声デイジー版）を寄贈しました

令和５年９月２８日（木）、岐阜県立岐阜盲学校に防災啓発冊子「近年の豪雨災害記録集・２０２２ 自然に学び、自然に備える」※ のデジタル録音図書（音声デイジー版）を寄贈しました。

当研究所が進めている「大雨から大切な命を守る！誰一人取り残さない、逃げ遅れゼロに向けて住民避難を後押しする取り組み」の一環として、過去の水害の記録や教訓が視覚に障がいのある方にも伝わるよう、防災啓発冊子の音声デイジー版を作成し、中部地方の盲学校や点字図書館等へ寄贈するものです。是非ご活用頂き、防災学習の一助となれば幸いです。

音声版を手渡した代表の生徒さんからは、「音声だと作業しながらでも聞けるので、防災教材として触れやすいです。最近も災害が多いので、活用して過去の災害を学び、今後の生活に活かしていきたいです。」、実際に体験した先生からは、「デイジー版になっているので、大項目や小項目で飛べるのは有難いです。」との感想を頂きました。また、校長先生より感謝状を頂きました。

今後も、障がいのある方や外国人にも伝わるダイバーシティを意識した防災啓発に取り組んで参ります。

なお、寄贈の様子は中日新聞に取材頂きました。

※防災啓発冊子「近年の豪雨災害記録集・２０２２ 自然に学び、自然に備える」は、過去の災害を知って頂くことを目的に、中部地方で近年発生した風水害を中心にまとめた冊子です。

代表生徒への寄贈の様子

校長先生（左）より感謝状拝受の様子

デイジー再生機器を使用した視聴の様子

「令和５年度　松平交流館祭」に参加しました

令和５年１０月１日（日）、豊田市にある松平交流館において「令和５年度　松平交流館祭」が開催されました。

生憎の天気でしたが、地域の小学生など多くの方に参加いただきました。大人は浸水ＶＲ体験、子どもはペットボトルを使った防災科学実験で、楽しみながら体験していただきました。ＶＲを体験された方からは「会場のすぐ近くを川が流れているで、より効果的に感じた。」などの感想がありました。近くのブースでは地震体験や消防服体験も行われていました。

今後も多様な機関と連携しながら、「大雨から大切な命を守る！誰ひとり取り残さない逃げ遅れゼロを目指した取り組み」を進めてまいります。

愛知県立名古屋盲学校・愛知県立岡崎盲学校に、防災啓発冊子のデジタル録音図書（音声デイジー版）を寄贈しました

令和５年１０月２日（月）愛知県立名古屋盲学校、５日（木）愛知県立岡崎盲学校に防災啓発冊子「近年の豪雨災害記録集・２０２２　自然に学び、自然に備える」※ の デジタル録音図書（音声デイジー版）を３枚寄贈しました。

当研究所が進めている「大雨から大切な命を守る！誰一人取り残さない、逃げ遅れゼロに向けて住民避難を後押しする取り組み」の一環として、過去の水害の記録や教訓が視覚に障がいのある方にも伝わるようデジタル録音図書を作成し、中部地方の盲学校や点字図書館等へ寄贈するものです。

是非ご活用頂き、防災学習の一助となれば幸いです。今後も、ダイバーシティを意識した「大雨から誰一人取り残さない」防災啓発を推進して参ります。

※防災啓発冊子「近年の豪雨災害記録集・２０２２ 自然に学び、自然に備える」は、過去の災害を知って頂くことを 目的に、中部地方で近年発生した風水害を中心にまとめた冊子です。

愛知県立名古屋盲学校

前田 校長（左）と犬飼 当協会地域づくり技術研究所長（右）

愛知県立岡崎盲学校

犬飼 当協会地域づくり技術研究所長（左）と成瀬 校長（右）

知立市立八ツ田小学校で防災講座を行いました

令和５年１０月１１日（水）、知立市立八ツ田小学校で３年生５４名に「令和５年度防災学習の日」の一環として、防災講座を行いました。

講座では、この地域でも被害があった伊勢湾台風や東海豪雨など、過去に発生した水害を学び、浸水疑似体験映像やあつ森の避難学習動画の視聴を行いました。また、堤防決壊のメカニズムを学ぶ実験や、ペットボトルを用いた竜巻や雲を発生させる実験、水害への事前の備えなどについて学んで頂きました。

好奇心旺盛な児童さんで、この地域が東海豪雨で浸水したことや、小学校の想定される浸水深に「えぇ～」と驚いていました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、ケーブルテレビKATCHに取材頂きました。

豊川市立金屋小学校で防災講座を行いました

令和５年１０月１４日（土）、豊川市立金屋小学校で５.６年生約１１０名とその保護者に防災講座を行いました。学校では、前日の１３日から防災キャンプが行われており、その一環で実施しました。

講座では、伊勢湾台風や昭和２８年９月洪水（台風１３号）など過去に発生した風水害について説明をした後、児童は映像で、保護者はＶＲで浸水を疑似体験し、水害の恐ろしさや早期避難の重要性を学んで頂きました。また、線状降水帯によりこの地域に被害をもたらした「６月の梅雨前線及び台風第２号による大雨」では、学校のすぐ横を流れる佐奈川が堤防すれすれまで増水したそうで、「線状降水帯について知っていますか」と質問したところ、多くの児童が手を挙げていました。

ペットボトルを用いて竜巻や雲などを発生させる気象に関する実験では、親子や友人同士で仕組みなどを話しながら楽しんで学んでいました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

講座の様子は、中日新聞・東愛知新聞に取材頂きました。

岐阜市立岩野田小学校でＤＩＧを行いました

１０月１６日（月）、岐阜市立岩野田小学校で５年生約６０名に、ＤＩＧ（災害図上訓練）を行いました。当研究所が６月に行った防災講座で学んだ事の実践です。

通学班の１２グループに分かれて、多目的教室の床に大きな地図を広げ、道路や河川、避難場所、通学路、想定浸水範囲、土砂災害警戒区などを色分けして記入し、水害時の避難について話し合いました。

最後に行なったグループ発表では、「遠回りしても安全な避難ルートを選択した」グループや「浸水していたら学校に留まる」グループなど、皆が自分事として真剣に考えた様子が伺えました。

来月には今日学んだ事を、実際に現地を歩いて確認するそうです。

今後も、「大雨から大切な命を守る」ための防災教育支援に取り組んで参ります。

岐阜市立網代小学校で防災講座を行いました

令和５年１０月１８日（水）、岐阜市立網代小学校で５年生１０名に防災講座を行いました。

学校は土砂災害警戒区域に建っています。

講座では、堤防の決壊メカニズムを学ぶ実験に興味津々で、河川堤防の浸透破壊実験動画上映の際にも、とても盛り上がってました。また、土石流の映像も「わぁー」っという歓声とともに、もう一度観たいとのリクエストがありました。

今回は２時限を使った講座で、児童の疑問や質問に回答しながら、ゆっくり進めることができました。「バザードマップを知っていますか？」の問いに対しても全員の手が上がったり、防災について良く理解している児童さんが多いと感心しました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

養老町立日吉小学校で防災講座を行いました

令和５年１０月１９日（木）、養老町立日吉小学校で５年生１０名に防災講座を行いました。学校の近くには牧田川が流れています。牧田川は、昭和３４年８月の集中豪雨で堤防が決壊し、９月の伊勢湾台風で再度決壊しました。児童の皆さんは、伊勢湾台風は全員が知っており、意識の高さが伺えましたが、８月の集中豪雨は知らない児童が多くいました。町内には浸水看板も多く残っており、過去の水害を伝える大切さを感じました。

また、堤防の決壊メカニズムを学ぶ実験や高潮を学ぶ実験、身近なペットボトルを用いた竜巻・雲を発生させる実験などでは、多くの児童が興味を持って楽しみながら学んでいました。

講座後の児童の挨拶では、「堤防は土でできていることがわかった。」、「堤防は上から壊れるだけじゃなくて、下からも壊れることがわかった。」などの感想を頂きました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

「第２７回健康・福祉すこやかフェスティバル」に参加しました

令和５年１０月２１日（土）、総合福祉会館「すこやかタウン美濃加茂」にて開催された「第２７回 健康・福祉すこやかフェスティバル」に参加しました。

当協会は、美濃加茂市で甚大な被害をもたらした今年が４０年の節目である９.２８豪雨災害のパネル展示やＶＲによる浸水疑似体験、ペットボトルを用いた高潮・雲・竜巻などをつくる気象に関する防災科学実験、「あつ森」の避難学習動画の上映を行いました。ＶＲは４２名の方に体験して頂き、「迫力があって怖かった」「これはいい啓発になりますね」などの感想がありました。

また、石橋天気予報士による講演会の中で防災科学実験が行われた際、当協会のブースで実験ができると紹介して頂いたこともあり、多くの子供が訪れたほか、「あつ森」の避難学習動画を目当てにブースへ来られた方も多くいました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

「第４７回春日井まつり」に中部大学と共同出展しました

令和５年１０月２１日（土）・２２日（日）、春日井市役所庁舎及びその周辺で開催された「第４７回春日井まつり」に、「命を守る水害意識向上プロジェクト」として、中部大学都市建設工学科の武田研究室と共同出展させて頂きました。

当協会は、ＶＲによる浸水疑似体験や「あつ森」の避難学習動画の上映、ソナエルピクトのマグネット配布を行いました。来場者からは、「浸水する時は一気に水が来ることが分かった」「早く逃げようと思った」などの感想があり、浸水の恐ろしさや早期避難の重要性が伝わった様子でした。

武田研究室では、街の模型を使用して都市型水害や、街が取り組んでいる水害対策などを、学生が子供から大人まで解りやすい表現で説明していました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

恵那市立山岡中学校で防災講座を行いました

令和５年１０月２５日（水）、恵那市立山岡中学校で全校生徒約７０名に防災講座を行いました。学校の体育館裏は土砂災害特別警戒区域に指定されています。

講座では、大人数のため、代表生徒６名がＶＲで、その他の生徒は映像で浸水を疑似体験し、ＶＲを体験した生徒からは、「実際に起きたら早く避難したい」「対策を考えておきたい」などの感想がありました。また、５１年前に山岡町で被害のあった昭和４７年７月豪雨災害について、当時の広報紙を活用しながら自分たちの住んでいる地域で起きた災害を学び、教訓として、災害に備えておく大切さを学んで頂きました。

最後に代表で挨拶した生徒からは、「講座を通して災害時の避難の大切さを知った。警報が出たら家族と避難したいと思った。」との感想を頂きました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

輪之内町立大藪小学校で防災講座を行いました

令和５年１０月２６日（木）、輪之内町立大藪小学校で５年生４６名に防災講座を行いました。輪之内町は９.１２豪雨災害で長良川の堤防が決壊した安八町に隣接していますが、輪中堤で被害が大きく軽減されました。

講座は、実験を中心に行い、「バザードマップを知っていますか？」の問いに対して、ほとんどの児童の手が挙がりましたが、洪水の想定される浸水深まで確認している児童は数人で、学校の想定浸水深に驚いていました。

最後に、児童から「今まで大丈夫だったから、今日も大丈夫だと思わずに、日頃から気をつけたい」、「命を守るために早く避難した方が良いことを教わりました」、「もしも災害が起きた時のために備えられることがわかった」など感想を発表してくれました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、輪之内町の広報、中日新聞、岐阜新聞に取材頂きました。

令和５年度 津島市地区防災訓練に参加しました

令和５年１０月２８日（土）、津島市立東小学校で開催された「令和５年度津島市地区防災訓練」に参加しました。

子供から大人まで参加されるとのことで、ＶＲによる浸水疑似体験やペットボトルを用いた高潮・竜巻・雲をつくる気象に関する防災科学実験、あつ森の避難学習動画の上映を行いました。

ＶＲを体験した方からは、「リアルで実際に起きたら怖い」「３６０度見られるので迫力があった」などの感想がありました。また、実験は多くの子供が楽しんでいる様子が伺え、仕組みを友人同士話し合いながら和気あいあいと行っていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

「おおがき防災フェス２０２３」に参加しました

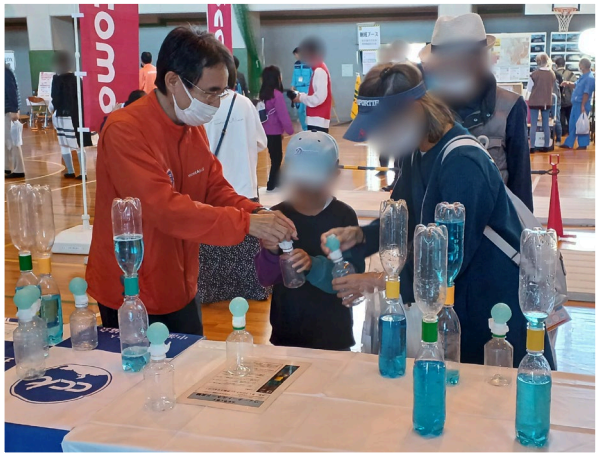
令和５年１０月２９日（日）、大垣市立安井小学校で開催された「おおがき防災フェス２０２３」に参加しました。

子供から高齢者まで幅広い世代が楽しみながら参加できる体験ブース型のイベントです。

当協会は、ＶＲによる浸水疑似体験や「あつ森」の避難学習動画の上映、ペットボトルを用いた雲や竜巻を作る気象実験、ソナエルピクトのマグネット配布を行いました。お子さんが多く、ペットボトルを用いた実験がとても人気で、何度も来るお子さんもいました。

また、会場では、避難所受付訓練や弾道ミサイルを想定した住民避難訓練も行われていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。



「輪中ドーム ミニ防災展」に参加しました

令和５年１０月２９日（日）、国営木曽三川公園カルチャービレッジにて開催された「輪中ドーム ミニ防災展」に参加しました。

当協会のブースでは、伊勢湾台風などの災害パネル展示やＶＲによる浸水疑似体験、ペットボトルを用いて雲や竜巻をつくる気象に関する実験、あつ森の避難学習動画の上映を行いました。

伊勢湾台風の白黒写真をカラー化したパネルをご覧になった方からは、「カラー化だと伝わりやすいですね」とお声掛け頂きました。また、大人はＶＲ体験、子供はペットボトル実験で幅広い年齢層の方に防災について学んで頂きました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

愛知県立瀬戸工科高校定時制課程で防災講座を行いました

令和５年１０月３０日（月）、愛知県立瀬戸工科高等学校定時制課程で全校生徒２２名に防災講座を行いました。学校では、毎年防災講座を行っているとのことです。学校の近くには瀬戸川が流れています。

講座では、ＶＲによる浸水疑似体験で水害の恐ろしさを感じて頂きながら、瀬戸市に甚大な被害をもたらした昭和３２年８月豪雨や平成１２年の東海豪雨など過去に発生した水害などを学び、今後起こり得る水害への備えについて、理解を深めて頂きました。

ＶＲ体験後は、多くの生徒から「怖い」といった声があがっており、また、友人同士どんな避難行動を選択したか話し合いながら感想を伝え合う様子も見られました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

恵那市立上矢作中学校で防災講座を行いました

令和５年１１月１日（水）、恵那市立上矢作中学校で１年生１３名・２年生９名・３年生１３名に防災講座を行いました。学校の近くには、平成１２年の東海（恵南）豪雨で甚大な被害が発生した上村川が流れており、近くの山は土砂災害特別警戒区域にも指定されています。

講座では、東海（恵南）豪雨など過去に発生した水害などを学び、ＶＲで浸水を疑似体験して水害の恐ろしさや実際に水害が発生した際に自分がとるべき行動について、理解を深めて頂きました。

皆さん、東海（恵南）豪雨については知っていましたが、「ハザードマップで自宅の浸水深を確認したことがありますか」と質問したところ、確認したことがない生徒さんが多くいました。これを機会に一度確認して頂けたら幸いです。

代表で挨拶した生徒からは、「ＶＲで水害が起きたときの行動を学べたので、実際に起きたら避難したい。」「ＶＲを通して学べたのが貴重な体験だった。普段からどう逃げるか家族で話し合いたい。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

いのちを守る 地域協働の防災訓練〈第８回〉に参加しました

令和５年１１月２日（木）、大垣市立東小学校で開催された「いのちを守る 地域協働の防災訓練〈第８回〉」に参加しました。

当研究所は、訓練に参加された防災士など地域の方々に、ＶＲによる浸水疑似体験を行いました。当日は、大垣市立東中学校の生徒さん４名にＶＲゴーグルのアルコール除菌や案内、呼びかけなどお手伝いして頂きました。

また、大雨にソナエルピクトのマグネットや、中部地方の風水害を取りまとめた防災啓発冊子「自然に学び、自然に備える」を配布し、とても好評でした。

その他、訓練では簡易トイレ組立訓練やけが人搬送訓練などが行われていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

「瑞穂区民まつり２０２３」に瑞穂警察署と共同出展しました

令和５年１１月４日（土）、パロマ瑞穂レクリエーション広場で開催された「瑞穂区民まつり２０２３」に、瑞穂警察署と共同出展させて頂きました。共同出展は今回が２回目です。

当協会は、ＶＲによる浸水疑似体験やペットボトルを用いた竜巻・雲をつくる実験を行いました。

浸水疑似体験には、並んで待って頂くほど多くの方に約２分の矢作川の浸水を体験して頂きました。体験された方はリアルな映像に驚かれ、一気に水位が上がる様子など水害の怖さを自分事として捉えて頂ける良い機会になった様です。小学生たちはＶＲができないので残念がっていましたが、実験が面白くて何回も挑戦するなど思いっきり楽しんでいました。

また、瑞穂警察署では、白バイに乗車し記念撮影できるので、小さなお子様に大人気でした。

今後も地域防災力向上のため、地域と連携した取組を進めてまいります。

令和５年度 藍川地域防災訓練に参加しました

令和５年１１月５日（日）、岐阜市立藍川小学校で開催された「令和５年度 藍川地域防災訓練」で防災講座を行いました。訓練には、３７０名が参加されました。

講座では、この地域で被害のあった昭和５１年の９.１２豪雨災害など、過去の災害を教訓として学びながら、ＶＲや映像で浸水を疑似体験して頂きました。

ＶＲを体験した方からは、「早く避難しようと思う」「伊勢湾台風を思い出して怖かった」「他の選択肢はどうなるのか見てみたかった」などの感想がありました。また、講座のスライドをお褒めくださる方もいらっしゃいました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

「令和５年度愛知県公立高等学校ＰＴＡ連合会　東三地区連合会研究集会」で講演を行いました

令和５年１１月７日（火）、ライフポート豊橋で開催された「令和５年度愛知県公立高等学校ＰＴＡ連合会　東三地区連合会研究集会」において「水害から大切な人の命を守る」と題して、東三河地区の公立高校の教諭、ＰＴＡ役員の方々約２００名に講演を行いました。今回の講演は、豊橋工科高等学校で防災講座を毎年行なっているご縁で依頼されました。当地区では、豊橋聾学校、豊川市立金屋小学校でも防災講座を行っています。

豊橋市を始め、この地域は６月２日の線状降水帯による大雨で被害を受けており、参加された方からは、タイムリーな話が聞けて良かったとのお話も頂きました。

また、講演の後には、伊勢湾台風の映像をご視聴頂き、各校の代表者４２名にＶＲ体験もして頂きました。

各務原市立川島小学校で防災講座を行いました

令和５年１１月８日（水）、各務原市立川島小学校で５年生約１３０名に防災講座を行いました。この小学校では７月の６年生に続き今年度２回目の講座です。学校は木曽川と南派川に挟まれ、昔から水害に悩まされた地域です。

講座では、昭和５１年９.１２豪雨災害など過去に発生した水害などを学び、映像で浸水を疑似体験した後、その振り返りとして、「歩くことができる浸水の深さは何cm？」など水害についてのクイズを行いました。とても元気の良い児童たちで大いに盛り上がり、１３０人の〇✕クイズは圧巻でした。

また、この地域特有の水害対策である「ごんぼ積み」と呼ばれる石垣で高くした家屋を多くの児童が認識しており、文化の継承が伺えます。

最後に「実験などで災害の仕組みが良くわかったし、わかりやすいなぁと思いました」など実験の楽しさが伝わる感想を数名が発表してくれました。５年生は理科で「流れる水のはたらき」を学習したそうで、今回の講座が理解の深まりに繋がっていれば幸いです。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

一般社団法人中部地域づくり協会

令和５年度 大規模津波防災総合訓練に参加しました

令和５年１１月１１日（土）に名古屋港ガーデンふ頭（名古屋市港区）で「令和５年度大規模津波防災総合訓練」が開催され、関係機関等約１，３００人が参加しました。中部地域づくり協会は、防災エキスパートによる河川管理施設（護岸等）の被災状況調査訓練や展示エリアでの防災啓発を行いました。

地域づくり技術研究所は、濃尾地震などのパネル展示や特許取得の装置による液状化実験、ＶＲによる浸水疑似体験を行い、ＶＲは名古屋港における高潮の浸水被害を見て頂きました。大村愛知県知事、ＳＫＥ４８の方にも体験して頂き、ＶＲ体験者からは「避難の方法を間違えるとこのようなことになってしまうのですね。勉強になりました。」「怖いですね。」などの感想がありました。

防災エキスパート

展示エリア

液状化実験を体験する大村愛知県知事

垂井町立東小学校で防災講座を行いました

令和５年１１月１３日（月）、垂井町立東小学校で５年生２クラス４４名に防災講座を行いました。

講座の始めに、西濃地域に大きな被害をもたらした伊勢湾台風や９.１２豪雨のことを知っていますかと聞いたところ、知らない児童が多くいましたが、講座では、過去の水害の話に多くの児童が興味深く真剣に耳を傾けてくれました。講座の最後には、全員が学習シートに過去の水害名をしっかり記入していましたので、きっと学びに繋がったと思います。

また、ペットボトルを使った防災実験なども行い、１番楽しい授業だったと言ってくれる児童もいました。

代表で感想を発表した児童からは、「過去の水害とかを知ることが出来ました。避難についても知れて良かったです。」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

講座の様子は、中日新聞に取材頂きました。

水防団員の皆様がＶＲで浸水疑似体験

１１月１５日（水）夜、岐阜市島水防団の団長を始め分団長の方々１５名にＶＲによる浸水体験をして頂きました。岐阜市には水防活動を専門に行う専任水防団が設置されており、島水防団は団員１７０名を超える大組織です。

水防団の方々への体験会は今回が初めてでしたが、体験者からは「リアルだった」「団員全員に体験させたい」などの感想を頂きました。

来年１月には、団員に向けての体験を予定しています。

水防の最前線で活動される団員の皆様のスキルアップに繋がれば幸いです。

一宮工科高校の文化祭でＶＲ体験・液状化実験を行いました

令和５年１１月１７日（金）、愛知県立一宮工科高校の文化祭で、生徒・先生・保護者の方を対象にＶＲ体験・液状化実験を行いました。一宮工科高校では毎年防災講座を行っており、文化祭への参加も２回目となります。

液状化実験では、街に見立てた模型に地震を発生させ、液状化の仕組みを説明し、「どうやって起きるのか知らなかったが、実験を見てわかった」「一宮市が液状化の危険性があると知らなかった」など、多くの方から勉強になったとのお声を頂きました。

また、４２名の方にＶＲで浸水を疑似体験して頂き、「リアルで迫力があって怖かった」「家の近くが低く浸水しやすいので、早く避難したいと思う」といった感想があり、浸水の恐ろしさや早期避難の重要性が多くの方に伝わったように感じました。

今回のＶＲ体験・液状化実験が防災意識向上に繋がり、家族で早期避難や事前の備え等について、話し合って頂くきっかけとなりましたら幸いです。

神戸町立下宮小学校で防災講座を行いました

１１月２０日（月）、神戸町立下宮小学校で５・６年生４６名に防災講座を行いました。昨年度に引き続き２回目の講座です。揖斐川が近くを流れるこの学校の想定される浸水深は３～５ｍです。

講座では、平成１４年７月台風第６号など過去に発生した水害などを学びました。また、洪水バザードマップで自宅の浸水深を確認して頂きました。児童たちは学校の想定される浸水深に、「えーっ！」と驚いていました。

最後に「今まで水害が起きたら、家に居れば大丈夫だと思っていたけれど、今日勉強して避難所などへ避難して、自分の命は自分で守れるように気をつけようと思いました。」「家族で話し合ったことがなかったので、バザードマップを見て避難場所を確認したり、どのような道で行くのか確認したい。」など講座の意図が伝わる感想を発表してくれました。

講座の様子は、神戸町の広報や大垣ケーブルテレビに取材頂きました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

「トンネルで遊ぼう 遊べる建設企業展」に参加しました

令和５年１１月２３日（木・祝）、付替道路 設楽根羽線小松トンネル（工事中につき当日のみ解放）にて開催された「トンネルで遊ぼう 遊べる建設企業展」に豊橋支所・当研究所で参加しました。

当協会は、ＶＲによる浸水疑似体験やペットボトルを用いた竜巻・雲をつくる気象に関する防災科学実験、「大雨にソナエルピクト」マグネットの配付、「あつ森」の避難学習動画の上映を行いました。

防災科学実験では、多くのお子さんから「楽しかった」との声を聞くことができ、「家でも作ってやってみようと思う」という親御さんもいらっしゃいました。また、親御さんにはＶＲを体験して水害の恐ろしさを、お子さんには「あつ森」で避難の大切さについて学んで頂き、親子で防災について楽しみながら考える機会になりました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

「東京都大島町防災の日 特別イベント」で講演を行いました

１１月２３日（木・祝）、消防庁防災意識向上プロジェクトとして、「東京都大島町防災の日 特別イベント」の講演会が行われました。

犬飼所長が「大雨から大切な命を守る！逃げ遅れゼロに向けての防災啓発」をテーマに講演し、この地域で被害があった狩野川台風や平成２５年１０月台風の第２６号による土砂災害、事前の備えの重要性などについて説明しました。山肌には、今も当時の災害の爪跡を見ることができます。

講演会には町長を始め職員の方も参加されました。大島町では火山災害の心配もあり、ジュニア防災士の育成に取り組まれているとの事です。

また、１９８６年の三原山噴火以降、１１月２１日を大島町防災の日と制定されています。

今後も多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

羽島市立桑原学園で防災講座を行いました

１１月２４日（金）、羽島市立桑原学園で１～６年生１０３名に防災講座を行いました。小中一貫校のこの学校では９月の７年生（中学１年生）に続き２回目の講座です。

講座では、この学校のグラウンドにも被害があったことを表す看板がある昭和５１年９.１２豪雨災害など過去に発生した水害などを学び、「あつ森」の避難学習動画や土砂災害の映像を視聴した際には、もう一度見たいとのリクエストがありました。

今日、児童たちは１日防災のことを学習する日で、新聞紙スリッパを作ったり、非常食を作ったりしていました。また、中学生が小学生を誘導して下校する訓練も行われるそうです。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

高浜市立港小学校で防災講座を行いました

令和５年１１月２７日（月）、高浜市立港小学校で６年生７０名に、水害と地震について防災講座を行いました。２週間ほど前には、名古屋市港区の防災センターでの校外学習が行われたそうです。

水害の講座では、高浜市でも被害のあった昭和２８年９月の台風１３号や伊勢湾台風、東海豪雨などについて説明しました。伊勢湾台風の被災の白黒写真をカラー化して見た際には、皆さん「おーっ」と驚いていました。また、水害時にどのような避難行動をするか質問すると、多くの児童が高層マンションへ逃げると回答し、垂直避難の意識が高いことが伺えました。

地震の講座では、三河地方を襲った昭和東南海地震や三河地震など過去に発生した地震やその被害について説明し、地面の隆起した高さをお話しした際には、この近くだと何の建物に当たる高さなのか想像していました。また、地震の仕組みや液状化について実験を交えながら学び、学校付近が地震に強いのかを考えて頂きました。

水害・地震どちらで行った実験も講座の時間だけではもの足らず、休憩の時間も楽しそうに行っていました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、災害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

水　害

地　震

障がいのある方を対象とした生活講座で防災講座を行いました

令和５年１１月２９日（水）、岐阜市民福祉活動センターにて開催された障がいのある方を対象とした生活講座「ＶＲで学ぶ防災（主催：岐阜市障害者生活支援センター）」で、支援者の方を含む２９名に防災講座を行いました。センターの近くには、長良川が流れています。

講座では、岐阜市でも甚大な被害があった伊勢湾台風や９.１２豪雨など、過去に発生した水害について学んで頂きました。また、水害に関する〇×クイズでは、正解発表後、支援者の方と話し合っている姿も見られ、理解をより深めている様子でした。

ＶＲや映像による浸水疑似体験では、体験後に「雨の音が怖かった」「ＶＲ体験は初めてで、とても貴重な体験だった」などの声があり、また、待ち時間には、ペットボトルを用いた竜巻や雲をつくる気象に関する実験を行い、受講者同士で仕組みを考え相談しながら行っている様子が見られました。

講座を通して、「災害に対して、様々な備えをしないといけないと感じた。」「情報を集めておくことや、ハザードマップ等で自分の生活している所がどのような所か知っておくことが大事だとわかった。」との感想を頂きました。

今後も、大雨からの逃げ遅れゼロを目指し、誰ひとり取り残さない防災啓発に取り組んで参ります。

本巣市立一色小学校で防災講座を行いました

１２月１日（金）、本巣市立一色小学校で６年生３１名に防災講座を行いました。学校の近くには根尾川が流れています。

講座では、昭和５１年９.１２豪雨災害を始め過去に発生した水害などを学び、新たな災害に備えるため、洪水ハザードマップで自宅の浸水リスクを確認しました。とても元気の良いクラスで、活発な発言や質問に回答しながら進めました。

最後、アンケートに協力して頂き、「過去には、すごく大きい水害があることを知って、少しでも水害について知っておけば役に立つと思った。」、「川で遊ぶときは、上流で雨が降っているかどうかなど情報収集をしたいと思った。」、「避難する所は、避難場所だけじゃないことも知った。」など沢山感想を書いてくれました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

「令和５年度介護施設等防災リーダー養成研修」に参加しました

令和５年１２月５日（火）・６日（水）の２日間、愛知医科大学との連携で、日赤愛知災害管理センター棟で行われた「令和５年度介護施設等防災リーダー養成研修」において、ＶＲによる浸水疑似体験、装置を用いた液状化実験を行いました。

４２名の方にＶＲを体験して頂き、体験者からは「急に水位が上がってきて怖かった」「早く避難しないといけないと思った」、また、液状化実験の体験者からは「液状化で起こる被害を知り、怖いと思った」などの感想を頂きました。

各施設での防災計画などを考える際に、今回の体験を通して感じたことを思い出して頂けましたら幸いです。

今後も大雨から大切な命を守るため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

「建設技術フェア２０２３ｉｎ中部」に出展しました

令和５年１２月６日（水）・７日（木）、ポートメッセなごや 第３展示館で開催された「建設技術フェア２０２３ｉｎ中部」に出展しました。

「ＤＸでＺ世代に伝わる防災啓発」と題し、当研究所の取り組みや今年で４０年を迎えた９.２８豪雨災害に関するパネル展示、ＶＲによる浸水疑似体験、ソナエルピクトのマグネットの配布などを行い、多くの方にお立ち寄り頂きました。

「帰ったらあつ森の避難動画を観てみようと思います」、「学校での防災教育が大切だと思うので、子供の学校でもこのような防災講座をしてほしいです」、「周りに防災についてより知ってもらいたいので、デジタル展示館やソナエルピクトを活用させて頂きたいです」などといったお声を頂きました。

「かなやま祭」に参加しました

１２月９日（土）、下呂市の金山市民会館で開催された「かなやま祭」に参加しました。

中学生・看護学校の学生さんにお手伝いいただき、ペットボトルを使った防災実験などを行いました。

また、液状化実験を見学された方から、この地域は馬瀬川の旧河道で液状化が起こる可能性があることを伺いました。浸水ＶＲ体験をされた方からは「平成３０年７月豪雨の時は夜中に避難したので、怖かったことを思い出しました。」とお話ししてくださいました。

この催しは、消火器体験や非常食体験、ハザードマップで我が家をチェックなど屋外から３階まで使って、色々な防災の体験ができるよう工夫されていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

岐阜女子大学で防災講座を行いました

令和５年１２月１１日（月）、岐阜女子大学で学生４０名に防災講座を行いました。

講座は、防災と人権に関する講義の一環として実施し、当研究所の取組みや水害に関する法律の説明などを交えて、「大雨から大切な命を守る！誰一人取り残さない、逃げ遅れゼロに向けて」と題してお話ししました。また、伊勢湾台風や昭和５１年９.１２豪雨災害など過去に発生した水害を学びながら、ＶＲ・映像で浸水を疑似体験しました。ＶＲ体験が初めてという学生もおり、３６０度見回しながら水害の恐ろしさを感じている様子でした。

学生からは、「周りに高齢者がたくさん住んでいるので、率先してハザードマップや避難所の行き方などを確認しておき、災害が起きたときには呼びかけをして避難したい。」「経験したことの少ない地域こそ、様々な過去の水害から対策を学んでおく必要があると感じた。」などの感想を頂きました。

今回の講座が、学生たちの防災意識向上に繋がり、避難インフルエンサーになって頂けることを期待しています。

岐阜市立藍川北中学校で防災講座を行いました

令和５年１２月１４日（木）、岐阜市立藍川北中学校で１年生２９名に防災講座を行いました。学校の近くには、昭和５１年の９.１２豪雨で堤防が決壊した長良川が流れており、当時の浸水位を示す標示板も設置されています。

講座では、ＶＲによる浸水疑似体験で水害の恐ろしさを感じて頂きながら、マイタイムラインの作成を通して、水害時に自身がとるべき行動について理解を深めて頂きました。

元気いっぱいの学年で、伊勢湾台風などの馴染みのある場所での被害写真を見た際には、「えー！」と驚いた様子でした。また、「ハザードマップで自宅の浸水深を確認したことがありますか？」との質問には、多くの生徒が手を挙げており、防災意識の高さが伺えました。

今回の講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

弥富市立十四山中学校で防災講座を行いました

令和５年１２月１９日（火）、弥富市立十四山中学校で１年生５３名・２年生４８名・３年生４２名に防災講座を行いました。学校は、宝川と筏川に挟まれた海抜ゼロメートル地帯に位置します。

講座では、この地域で被害のあった伊勢湾台風についての説明と併せ、ＶＲによる浸水疑似体験で水害の恐ろしさを感じて頂きました。ＶＲ体験中は、３６０度見回したり画面上に見えるものに手を伸ばす様子が見られ、体験後には、多くの生徒から「怖かった」「臨場感があった」との声がありました。

また、マイタイムラインの作成では、ハザードマップで自宅の浸水深を確認し、水害時に自身がとるべき行動などを友人同士話し合いながら考えていました。

今回の講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

講座の様子は、クローバーＴＶに取材頂きました。